

子どもの主体性と笑顔を引き出す療育・支援

～2人のパイオニアと cocoon の実践から学ぶ

アクアムーブメントの可能性～



「子どもたちの笑顔が
教えてくれる。」



講師



小林 芳文

横浜国立大学・和光大学名誉教授、教育学博士、NPO法人日本ムーブメント教育・療法協会会長。『フロスティックのムーブメント教育・療法-理論と実際』（日本文化科学社、2008）、『ムーブメント教育・療法による発達支援ステップガイド』（日本文化科学社、2006）、『LD児・ADHD児が蘇る身体運動』（大修館書店、2001）ほか著書多数。



荒井 正人

NPO法人楽しいスポーツを支援する会、水中ムーブメント協会会長、NPO法人日本ムーブメント教育・療法協会常任専門指導員、放課後等デイサービスcocoonアクアムーブメント講師。「プールで楽しく運動発達」月刊『実践障害児教育』（学研、2012）、「幼児のためのムーブメント教育実践プログラム 第7巻 水泳ムーブメント」（コレール社、1988）等で実践を報告。

話題提供 司会



大橋 さつき

和光大学教授、博士（学術）、NPO法人日本ムーブメント教育・療法協会常任専門指導員、児発・放ディ cocoon プログラム監修。著書に、『子どものウェルビーイングとムーブメント教育』（大修館書店、2024）ほか。

「毎日の療育・支援…、もっと子どもと一緒にワクワクできるはず！」

本講座では、放課後等デイサービス「cocoon」で始まった最新のアクアムーブメントの実践報告に加え、プールが物語の舞台に変身した「わたげちゃん水の冒険」のクリエイティブなプログラムの記録を紹介！

2人のパイオニアと共に、「水環境」が引き出す子どもたちの発達の可能性、そして大人も子どもも心が弾む“楽しい障がい児支援のカタチ”を一緒に語り合ってみませんか？

日時

2026年9月6日(日)
13:30～15:30

会場

児童発達支援 放課後等デイサービス
cocoon (コークン)

【第1部】話題提供 報告者: 大橋 さつき

- ・トピック1 : 放課後等デイサービスcocoonでのアクアムーブメント実践報告
- ・トピック2 : 物語性のあるクリエイティブムーブメントとして発展したプールでの実践事例
「わたげちゃん水の冒険」の紹介

【第2部】パイオニア対談

『身体意識』への着目と『楽しさ』が育む、子どもの発達とウェルビーイング

登壇: 小林 芳文 × 荒井 正人 (司会進行: 大橋さつき)

フロスティッグのムーブメント教育・療法を日本に導入した小林芳文先生、アクアムーブメント第一人者である荒井正人先生、2人の先駆者の対談から、子どもの主体的な育ちを支える運動遊びによる療育・支援のあり方を学びましょう。
「身体意識」と環境との対話から生まれる、動く「楽しさ」に注目した議論に注目です。

【第3部】質疑応答(実践Q&A) 「明日からの現場・支援をもっと楽しくするために…」

POINT 1

身近な実践の効果から

発展的アプローチまで

cocoonで始まったアクアムーブメントの報告と、物語の世界に浸るクリエイティブな実践例から、明日からの現場に活かせるヒントを提示します。

POINT 2

【パラダイムシフト】

「訓練」から「笑顔」と「楽しさ」へ

「遊ばせてばかりで子どもをダメにする」との批判を乗り越え、子どもの笑顔を確認に変えた先駆者たちの情熱から、障がい児療育の本質に迫ります。

POINT 3

子どもの可能性をひらく

「身体意識」へのアプローチ

荒井先生が小林先生から受け継いでアクアムーブメントに活かした「身体意識」の視点から、感覚と運動の変化、成功体験の芽生えを紐解きます。

POINT 4

子どもと支援者（大人）の

「ウェルビーイング」の好循環

支援者自身が楽しむことの大切さと、遊びの場を通じて子ども・親・指導者みんなが幸福感で満たされる持続可能な関係性を提示します。

日時 2026年 9月 6日(日) 13:30～15:30 (開場 13:00)

会場 児童発達支援・放課後等デイサービス cocoon
横浜市緑区十日市場町863-11 ハーモニータナカ1階

対象 障がい児支援にかかわる支援者、教員、保育士、保護者、学生など

横浜線十日市場駅から、線路沿いに徒歩 3 分



参加費無料 要予約 ※定員になり次第受付は終了とさせていただきます。

左のQRコードを読み取り、お申し込みフォームより必要事項をご入力の上、お申し込みください。

問い合わせ

E-mail: contact@cmdyouyou.com

主催

(株)CMDゆうゆう

